

2015 まちづくりアドバイザー活動事例集

【北 区】	(担当：西原 秀倫)
北山三学区まちづくりビジョン	1
「北区つながるワークショップ」から生まれた取組への支援	1
【上 京 区】	(担当：浅田 雅人)
上京のフォトコンテストの企画支援	2
【左 京 区】	(担当：山中 はるな)
3 年目の広がり！みんなでつくる「左京朝カフェ」	3
地域活性化ネットワーク「左京×学生 縁ねっと」	3
【中 京 区】	(担当：深川 光耀)
中京マチビトCafé “まなびと共鳴編” の開催	4
地域で活躍する『まちづくり仕掛け人』を育てる	4
【東 山 区】	(担当：大塚 敏之)
東山観光支援コミュニティ	5
まちづくりカフェ@東山	5
【山 科 区】	(担当：佐藤 友一)
やましなGOGOカフェの企画と運営	6
「山科感動！ツーリズム 2014」事業企画	6
【下 京 区】	(担当：天岡 昌代)
松原通 みんなの昼市&大人の夜市の開催（松原通活性化事業の支援）	7
地域役員と下京区幹部職員との懇談会・ワークショップの企画	8
【南 区】	(担当：山本 一貴)
南区制 60 周年マンガ記念誌の発行	8
上鳥羽地域の安心安全まちづくり活動の取組	8

【右 京 区】	(担当：朝倉 眞一)
まちづくりキャンパス@右京	9
水尾学区，宕陰学区などの地域活性化の取組	9
【西 京 区】	(担当：田尾 純子)
西京区まちづくり区民会議	10
「ふらっと・西京」の新たな展開	10
【西京区洛西支所】	(担当：吉田 泰基)
京都市・向日市協働イベント「竹結びフェスタ」	11
「らくさいマルシェ」の企画・運営	11
【伏 見 区】	(担当：亀村 佳都)
久我・羽束師地域のまちづくり活動支援	12
伏見エコライフプロジェクト	12
【伏見区深草支所】	(担当：加藤 ゆうこ)
「鴨川運河会議」の企画・運営	13
七瀬川調査プロジェクトのサポート	13
【伏見区醍醐支所】	(担当：谷 亮治)
おとなだいご塾	14
市民活動活性化事業	14

【北区】

北山三学区まちづくりビジョン

【事業概要】北区の山間地に位置する 3 つの学区（小野郷・中川・雲ヶ畑）の住民の方々が、自らの地域の将来像について議論を重ね、これからの地域の姿をビジョンとしてまとめました。

そのビジョンを実現するために、既に交流人口の増加を目的とした地域ごとの活動が始まっています。新たに開設したホームページを活用しながら、（地域外の方を対象とした）まちあるきツアーなどのイベントの実施や、空き家活用の方策の検討も進めています。

<http://kitayama3.jp/>（北山三村HP）



【役割／関わり方】

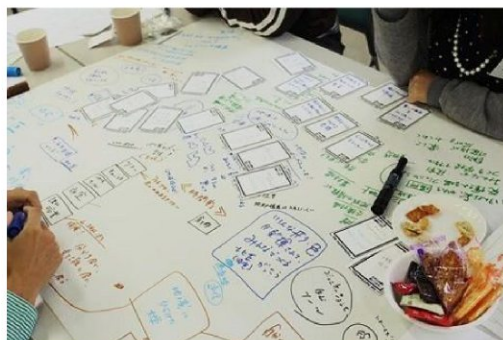
地域の主体的な取組を支援

- 企画への助言や、会議の運営サポート
- 地域住民と外部応援団体との連携促進
- 情報提供や広報協力

「北区つながるワークショップ」から生まれた取組への支援

【事業概要】北区のまちにつながるのある人が集い、楽しみながらまちを豊かにすることを目指す「北区つながるワークショップ」。

多様な世代がつながる居場所がほしい！山間地を活性化したい！商店街で交流を！居場所サミットをしよう！など、参加者の多様な想いをカタチにする取組が動き出しています。



【役割／関わり方】

取組の実施や発展に向けた支援

- 企画への助言や、会議の運営サポート
- 団体運営に向けた助言や活動補助

北区担当アドバイザー：西原秀倫

【上京区】

上京のフォトコンテストの企画支援

【事業概要】上京区まちづくり円卓会議での部会の1つである魅力発信部会有志の会での取組として、フォトコンテストを実施しました。

経営者、自治会長、NPO代表、PTA会長などの委員に加えて写真家、IT企業の経営者、大学職員も交え、毎月定例会議を重ね、行政・民間・地元・大学などの力を結集した大規模なプロジェクトとなりました。



【役割／関わり方】

- 話し合いの進行や会場選び、外部の人を会議に連れてくるなど、それぞれの関係性を高めつつ風通しの良い雰囲気づくり
- 事務局として連絡調整、プロジェクトの事務面のバックアップなど、実際のアクションに繋げていくまでのサポート

上京区担当アドバイザー：浅田雅人

【左京区】

3年目の広がり！みんなでつくる「左京朝カフェ」

【事業概要】平成24年5月にスタートした、まちづくりに関心のある人が集まりワークショップ形式で対話を行う「左京朝カフェ」。今年は、「国際交流」「里山の活性化」「大学生とまちづくり」をテーマに、場所は日仏学館や大原、大学などで開催。今までと少し違う層の参加者も集まりコミュニティの幅が広く豊かになりました。平成27年度に区のまちづくり助成金に応募する団体を増やすため、朝カフェの場や個別ミーティング、SNSを活用し、プレイヤーのバックアップを行っています。



また、参加者同士の情報交換、活動支援などの交流も非常に盛んで、小さなつながりが大きなネットワークになりつつあります。（これまで21回開催。参加者述べ866名）

【役割／関わり方】

区民と行う企画会議のバックアップ、広報、当日の進行等

- 企画会議の運営、ファシリテーション
- チラシの作成、広報活動
- 当日の進行、参加者のネットワークづくり

地域活性化ネットワーク「左京×学生 縁ねっと」

【事業概要】平成26年度で3年目になる「左京×学生縁ねっと」。事業の基盤も完成し、認知度も上がってきて、今年は活動学生数が延べ120名を超え、昨年の47名から2.5倍に増えました。縁ねっとメールマガジンに登録している学生同士の交流会や、「左京朝カフェ」を通じたネットワークづくりも進み、まちづくりに積極的な学生同士のつながりが可視化されてきました。

また、学生記者を募集して縁ねっとニュースレターを作成し、学生目線のボランティア体験記を発信することで、新たに関心を持ってくれる学生の獲得に努めました。



【役割／関わり方】

企画会議への参加、学生交流会の開催、広報

- ボランティア情報の集約や、今後の方向性を考える企画会議への出席
- 学生から要望の高かった交流会の開催
- 学生により関心を持ってもらうためのリーフレットの作成など

左京区担当アドバイザー：山中はるな

中京マチビト Café “学びと共鳴編”の開催

【事業概要】中京区内でまちづくりに取り組む人＝“マチビト”の情報交換，交流を目的とした「中京マチビト Café」。

平成 26 年度は、「学びを通じた、気づきと響き合いの場づくり」を目標に「学びと共鳴編」を新たに開催しました。

「マチビト×まちの居場所」をテーマとした第 1 回では，“住み開き”の提唱者であるアサダワタル氏を招いて学びを深めるとともに，“マチビト”と区内で居場所づくり行っている活動者との交流の機会を創出しました。第 2 回は，会場を新風館に移して，「マチビト×商い人」をテーマに商業者との交流を図りました。



【役割／関わり方】

中京マチビト Café の企画・運営のサポートおよび参加者の交流促進

- ゲストスピーカーやゲストのコーディネート
- 当日のファシリテーター，全体進行
- 協力・連携することによって取組のプラスになりそうな，参加者同士のマッチング
- 参加者からのまちづくりに関する相談受付・対応

地域で活躍する『まちづくり仕掛け人』を育てる

【事業概要】中京区では，次世代を担うリーダーの育成を目的に，「まちづくり仕掛け人養成講座」を開催しました。受講者は 9 名。全 6 回の講座を通じて，想いやアイデアを具体化するための企画提案力や，その企画を人に伝えるためのプレゼンテーションスキルの向上に取り組みました。

その結果，「商業者を対象とした外国人のおもてなし英語講座」や「銭湯の活性化」，「地域カルタづくりによる多世代交流」といった企画が生まれました。



【役割／関わり方】

講座の講師，運営支援，楽しんで受講できる雰囲気づくり

- 講師として，中京のまちづくり事例や企画のつくり方を紹介
- 受講生を対象としたグループワークにおける，企画・アイデアに関連する事例の紹介などの情報提供，受講者の想いやアイデアを企画のかたちにするサポート
- 受講者に継続して参加してもらえるよう，楽しんで受講できる雰囲気づくり

中京区担当アドバイザー：深川光耀

【東山区】

東山観光支援コミュニティ

【事業概要】 「東山観光支援コミュニティ」とは、誰もが安心して観光を楽しめるユニバーサルツーリズムの推進を目指して、観光客に対してより親切できめ細かいサービスを提供しようとするお店や観光施設が集まるコミュニティです。

コミュニティの運営は、京都産業大学の学生や区役所職員等からなるプロジェクトチームが担っており、平成 26 年度は食物アレルギーをもつ観光客を対象に、安心して東山観光を楽しんでもらえるような冊子制作と啓発イベントを企画しました。



【役割／関わり方】

地域・大学・行政による協働事業の企画・運営

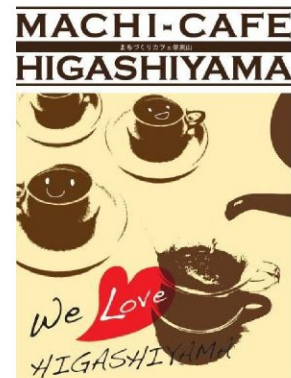
◎企画検討のワークショップにおいて、目指す方向性や具体的取り組みの決定といった合意形成のプロセスを組み立てリードしました。

◎企画内容の具体化にあたって、参考情報の提供や協力店舗の紹介、店舗取材のサポートなどプロジェクトチームの活動を支援しました。

まちづくりカフェ@東山

【事業概要】 東山区では、住民主体のまちづくり活動を支援する取組として、「まちづくりカフェ@東山」を開催しています。

平成 26 年度も、参加者のみなさんが気の合う仲間を見つけて、関心のあるテーマごとにチームをつくり、自由な発想で主体的に東山でのまちづくり活動を実践されました。区役所においては、定期的に交流会を開催し、チーム活動に対する助言・サポート等も行いながら、参加者のみなさんの出会いとつながり、主体的な活動を支援しました。



【役割／関わり方】

地域住民によるまちづくり活動のコーディネート

◎より多くの参加者が出会い、主体的なまちづくり活動へと結びつくよう、交流会のプロセスとプログラムを企画し運営しました。

◎より良いチーム活動ができるよう、アイデアや方向性の提示、必要となる人やモノとの結びつけなど、状況に応じた多様な支援を行いました。

東山区担当アドバイザー：大塚敏之

【山科区】

やましな GOGO カフェの企画と運営

【事業概要】「やましな GOGO カフェ」は、山科に関心のある人が出会い、つながることのできる場として、平成 26 年 5 月から始まりました。30～50 名程度の参加者が集まり、「山科の知られざる魅力」「おしゃべりサロンのボランティアのお手伝い募集」「ママ・妊婦さんが笑顔になるイベント」「山科の交通網について」等、身近な生活から山科全体まで、様々なテーマで話し合っています。



11 月からは、複数回にまたがって話し合う継続テーマも募集し、話し合いを深める試みをしています。

【役割／関わり方】

事業の立ち上げにおける企画立案，事業の実施・運営

- やましな GOGO カフェの開催目的や実施手法について、区役所とともに議論し、内容を組み立てました。
- 新たな出会いと話し合いの深まりが両立するように、プログラムの工夫にアイデアを出しました。
- 他区で行っているカフェ事業の様子を参考にしながら、チーム形成への促しを行うタイミングを見計らうなど、後発のメリットを活かすように運営しています。
- 参加者同士の自己紹介など、プログラムの一部の進行を担いました。

「山科感動！ツーリズム 2014」事業企画

【事業概要】平成 25 年度に都市計画局歩くまち京都推進室によって実施された「山科・感動ツーリズム推進事業」が、平成 26 年度は山科区役所が実施主体となったため、より山科区の実態に合わせた事業となるよう企画しました。

具体的には、目指す観光の形を、地域が主体となって魅力をアピールする「着地型観光」とし、観光資源の開発だけでなく、山科区民が地元のことをよく知って好きになるような仕掛けを作り出すことにも力を注ぎました。



【役割／関わり方】

事業の枠組の組み立て，事業の実施・運営への協力

- 区役所とともに、着地型観光を目指す事業理念を構築しました。
- プロポーザル方式による事業者選定に協力しました。
- 山科区民が地元のことをよく知って好きになるための事業、「やましな大冒険」の企画立案及び実施・運営に協力しました。

山科区担当アドバイザー：佐藤友一

【下京区】

松原通 みんなの昼市&大人の夜市の開催（松原通活性化事業の支援）

【事業概要】松原通境界活性化活動プロジェクト委員会の活動支援として、平成26年度は、洛央小学校との連携事業である「松原お迎え提灯灯し」のほか、松原通境界に住んでいる方や関心のある方に一緒に活性化を考えてもらうための「松原フューチャーセッション」を行いました。関心のある方が多く集まり、その中から「松原通 みんなの昼市&大人の夜市」の企画が誕生しました。



これまで、委員会では、西洞院通から松原橋までの区間を中心に活動を行ってききましたが、今回、西洞院通から西の松原京極商店街に参加していただき、広くつながることができました。このプロジェクトをきっかけに、周辺の店舗や住民の方にもっと参加していただき、松原通がますます活気のある通りになることを目指しています。

【役割／関わり方】

委員会が行う企画と事業などの支援

- 松原フューチャーセッションの運営
- 松原京極商店街とのつなぎ役
- 松原通 みんなの昼市&夜市の企画と運営の支援

地域役員と下京区幹部職員との懇談会・ワークショップの企画

【事業概要】地域役員と下京区役所の職員が地域の課題や将来のまちづくりについて話し合う懇談会において、「地域コミュニティ活性化」をテーマに、意見交換を行いました。地域の皆さんが懇談を分かりやすく進められるように「寸劇」を採用し、テーマを視覚的に訴えました。町内会アンケートや学生や単身者への聞き取り調査をもとにシナリオを作成し、「町内会加入を勧める前に顔の見える関係づくりから始めてみる」という題材で問題定義を行い、地域役員の方に考えていただきました。



ワークショップ形式を採用することで、忌憚のない意見交換が可能になったほか、区役所からの問題定義では、寸劇を採用したことにより、分かりやすく伝わり、活発な意見交換に結びつきました。

【役割／関わり方】

ワークショップの企画と運営

- ワークショップの内容の提案
- 当日の運営

下京区担当アドバイザー：天岡昌代

【南区】

南区制60周年マンガ記念誌の発行

【事業概要】南区役所では、平成27年に南区制60周年を迎えるにあたり、記念事業の第1弾として、マンガ記念誌の発行に取り組んでいます。子どもにも読みやすいマンガという形式で、地域の絆の大切さ、ものづくりのまちとしての活力、寺社仏閣や地場野菜といった地域資源の奥深さなどを分かりやすく伝えようとする取組です。



制作は、京都版トキワ荘在籍のマンガ家志望者、情報誌をつくる学生団体所属の大学生などが4つのチームを組んで進めています。

【役割／関わり方】

事業全体の進捗管理や個別の原稿校正に対する助言、関連情報の収集と提供

- 事業がいっそう円滑に進むよう、区役所とマンガ家志望者、大学生、仲介業者との間の打合せ事項やその進め方に関する助言・提案を行いました。
- 個別の企画や制作物がより良くなるよう、企画のコンセプトや内容に対する助言、関連する情報の収集・整理のほか、原稿の校正などを行いました。

上鳥羽地域の安心安全まちづくり活動の取組

【事業概要】上鳥羽学区では、自治連合会や各種団体、小学校、児童館、保育園等の連携のもと、「あんしん・あんぜん上鳥羽推進委員会」が組織され、「小さなおせっかいが心地良いまちづくり」をテーマに、子どもの見守り活動をはじめ様々な取組が継続的に行われています。

平成26年度は、区民提案型支援事業の補助金を活用して、新たに、安心安全の啓発のため、地域特産の九条ネギをモチーフにした独自のキャラクターの制作を企画し、実施されました。



【役割／関わり方】

継続的な取組として地域に定着した取組になるよう、活動の相談・応援役

- 定期的に行われる会合や活動の現場等に出向き、今後の方向性や各事業（機関誌『カランコエ』の発行、キャラクター「ネギトバちゃん」の制作等）の進め方について相談に応じたり、参考となりそうな事例について情報を提供しました。
- そうすることで、いっそう継続的、主体的な取組として地域に定着するように、活動やそれを支える方々を応援しました。

南区担当アドバイザー：山本一貴

【右京区】

まちづくりキャンバス@右京

【事業概要】区民会議などで出されたアイデアを具体化・事業化していくための場です。

平成 25 年度から右京区民まちづくり交流拠点（MACHIKO）で年間 2 クール開催するとともに、参加者間の交流企画や、MACHIKO 活性化に向けたミーティングなども行いました。

自治連合会や各種団体、NPO 法人や区民有志など、右京のまちづくりに関心を持つ方が集い、地域の課題などの情報交換とともに、悩みやアイデアを語り合い、新たなつながりとまちづくり活動のヒントを見つけていきました。ここから生まれた新しい活動も、徐々に育ってきています。



【役割／関わり方】

事業全体の企画運営、アイデアを出し合う場づくり、当日の進行など

- 事業プロセスの企画検討、各回のプログラムづくり
- 当日の進行、参加者のネットワークづくり

水尾学区、宕陰学区などの地域活性化の取組

【事業概要】水尾学区・宕陰学区では、地域の活性化に向けたアクションプランに基づいて、都市住民との交流からリピーターの確保など、地域の個性を生かした取組を進めてきました。

水尾学区では、嵯峨芸術大学や有志の水尾ファンと連携し、期間限定のアンテナショップ、柚子加工品の販売促進と新たな加工品づくりなど、特産の柚子を活かした地域の PR と生業の活性化に取り組みしました。



宕陰学区では、農業を主とした地場産業を活かした活性化に取り組みしました。子育て世代の定住促進に向けて、平成 25 年度に改修した交流拠点を活かした「宕陰ファンクラブ」を立ち上げるとともに、移住者の住まいの確保に向けた地域の空き家調査など、新たな取組を進めています。

【役割／関わり方】

アイデア提供や方向性の提示など、相談役、コーディネーター役

- 地域の活性化を考えるにあたっての事例紹介、情報提供
- アクションプランをベースに、実情に合わせた事業プロセスのアドバイス
- 活動の進め方、方向性のアドバイス

右京区担当アドバイザー：朝倉眞一

【西京区】

西京区まちづくり区民会議

【事業概要】西京区では、区基本計画を区民と行政との協働で進めていくために、計画の進行管理、まちづくりの目標設定や具体的な取組内容の検討について意見交換を行う「西京まちづくり区民会議」を年3回開催しています。

平成25年度末から、より活発に意見交換ができるよう、少人数のグループでのグループワークを取り入れました。



【役割／関わり方】

グループワークのプログラムの企画・立案と進行の補助

- 区基本計画策定時の円卓会議の進め方や他区の状況など情報を収集し、提供しました。
- グループワークのプログラム内容やテーマの設定についての提案やアドバイスを行いました。
- 会議の当日、グループワークの進行補助やグループ発表などを担当しました。

「ふらっと・西京」の新たな展開

【事業概要】「ふらっと・西京」は、西京のまちづくりに興味のある方々の出会い・交流・語り合い・学び合いの場です。

平成26年度は、多様な層の方に参加してもらえるよう日時を変えて開催したり、「ふらっと・西京」のような場が将来的に様々な地域や団体で行われることを目指して、実験的に地域の会館やコワーキングスペースなどで開催しました。



【役割／関わり方】

事業の企画・運営

- 事業全体の企画・運営を行いました。
- 関係し得る団体や個人のニーズの把握、コーディネートなどを行いました。
- 新たな広報先の開拓など広報活動を行いました。
- 成果や課題を分析し、今後の展開について提案しました。

西京区担当アドバイザー：田尾純子

【西京区洛西支所】

京都市・向日市協働イベント「竹結びフェスタ」

【事業概要】長岡京遷都 1230 年, 平安京遷都 1220 年を記念し, 両市のさらなる交流や一体感を高めることを目的に, 両市の境にある洛西竹林公園において, 協働イベント「竹結びフェスタ」を開催しました。

フェスタでは, 地域団体等によるコンサートや「竹」をテーマにした手づくりマルシェ, 婚活イベント, また別日に協働ウォーキングをそれぞれ開催し, 両市の多世代の市民が交流しました。



【役割／関わり方】

フェスタ及びウォーキングの企画・運営とコーディネート

- 竹結びフェスタ及び協働ウォーキングのプログラム企画支援やマルシェ出展の呼びかけ, 当日の運営サポートなどを行いました。
- 婚活イベントや協働ウォーキングなどのイベントにおいて, 地域団体による運営を図るため, コーディネート役を務めました。

「らくさいマルシェ」の企画・運営

【事業概要】洛西ニュータウンの活性化を図るため, 洛西高島屋やラクセーナ商店会, 京都市住宅供給公社, 西京区洛西支所, NPOなどが実行委員会を組織し, 毎月 1 回「らくさいマルシェ」を開催しています。

毎月約 50~70 店舗が雑貨などの手作り品を出展しているほか, 地元大原野の野菜を素材にした「大原野スイーツコンテスト」など, 主催者企画イベントも不定期で開催しています。



【役割／関わり方】

実行委員会及びマルシェへのトータルサポート

- 地域の活性化につなげるため, 地元洛西地域からの出展者発掘を図りました。
- マルシェ全体の企画及び運営をサポートしました。
- 大原野の野菜を素材にした「大原野スイーツコンテスト」の開催など, 主催者企画イベントについて, NPOと協働して企画から運営までを行いました。

洛西支所担当アドバイザー：吉田泰基

【伏見区】

久我・羽束師地域のまちづくり活動支援

【事業概要】久我・羽束師地域まちづくり協議会を通じての地域活動に携わって8年目。モビリティマネジメントでは地域の交通課題に取り組むほか、地域住民による地域のための朝市、久我のもり図書館など他機関と協力した羽束師のまちあるきなど、地域に出て地域と触れ合う機会が増えました。

また、平成26年度に久我の杜地域包括支援センターで6回開催された「ここはづ市」では、「伏見をさかなにざっくばらん（※1）」交流会などでの出会いも生かしながら、雑貨などの出店、子ども向けワークショップ、音楽演奏などを行い、地域の憩いの場を目指して活動しています。

（※1）伏見のまちへの思いをざっくばらんに出し合いながら、議論を深め、区民主体のまちづくり活動につなげていくことを目的に、伏見区において、平成24年6月から毎月1回開催している事業。



【役割／関わり方】

区民と行う事業などの企画支援

- 手づくり市運営に関する相談
- モビリティマネジメントワークショップにおける企画、当日の進行

伏見エコライフプロジェクト

【事業概要】平成26年度で3年目となる伏見エコライフプロジェクト。

「伏見のめぐみプロジェクト」では、伏見の農家の方々から話を聞きながら野菜を使った料理を作って味わうエコッキングと、「エコストーブ」を作って化石燃料に頼らないで過ごす交流会を開き、地産地消を進め、便利な暮らしを見直す機会を設けました。

「伏見のエコな人図鑑」づくりでは、これまで20件の取材を行う中、取材のコツを身につけるための「取材カススキルアップ講座」を開きました。その後、参加者有志が取材に出かけ、記事を執筆し、facebookとホームページで記事を掲載しました。



【役割／関わり方】

講座の企画、取材から発信までのコーディネート、イベントの運営

- 取材カススキルアップ講座におけるプログラム立案、チラシ作成、当日の進行
- 取材先との調整、取材への同行、記事の校正
- 伏見のめぐみプロジェクトのプログラム立案、レシピ、チラシやSNSでの広報

伏見区担当アドバイザー：亀村佳都

【伏見区深草支所】

「鴨川運河会議」の企画・運営

【事業概要】琵琶湖疏水鴨川運河は、深草地域のほとんどの学区を流れる身近な水辺空間です。公共空間を楽しく使って、まちのニーズや将来像を市民と行政が共に考え行動していくことを目指し、「鴨川運河会議」を立ち上げました。

議論を誘うために、NPOや学校等が協力して、冊子『カモガワウンガ 100 の視点』を制作し、連続まち歩きツアーを開催しました。また、ワークショップ形式の「鴨川運河会議」は、計4回開催し、出てきたアイデアを実現していこうとしています。



【役割／関わり方】

市民が出会ってまちづくり活動を始めるための会議企画・運営全般への助言

- 参加者や共に会議を推進するNPO、大学等と区役所との橋渡し役を務めました。
- 「こうなったらいい」から「自分が一緒にやってみる」に向けて、会議の合間に小規模な集まりを多数開き、粘り強く想いを聴いてサポートしました。
- 会議やフォローアップ会議の進行をつとめ、冊子編集会議連続ツアー、企画会議、動き始めのグループの会議等を通して、関係者や参加者の情報共有を進めました。

七瀬川調査プロジェクトのサポート

【事業概要】深草支所地域力推進室の事業で、七瀬川の水質・植物・生物の調査を複数の教育機関との連携で実施しました。現地についての打ち合わせを重ね、実際の調査の指導は主に大学が、調査主体は地元の高校生が担い、何度も出かけて現状を知り、データを採取しました。

調査の対象となった七瀬川の水源・流域について、地元の方々の昔の話や願う想いを行政や参加者に届け、対象地域の未来を考えるワークショップをサポートしました。



【役割／関わり方】

地域の現状を広く知る調査になるための情報提供

- かつて豊かな里山として機能していた対象地とその周辺地域について、地元の古くや土地の関係者の話（遊び、農業、歴史、地場産業など）をプロジェクト関係者に伝え、他方で調査の意図を地元の方々に伝える役目を担いました。
- 2年にわたる河川や池などの流域調査をサポートしました。

深草支所担当アドバイザー：加藤ゆうこ

【伏見区醍醐支所】

おとなだいご塾

【事業概要】「おとなだいご塾」は、醍醐地域でまちづくり活動に取り組む人材を育成するため、専門家や、実際に活動に取り組んでおられる市民団体による講座を行い、企画づくりや仲間づくりを目指す事業です。

実施にあたっては、一方的な知識提供に留まらない、参加者が積極的に関わられるようなワークショップ型講座となるよう設計しました。



【役割／関わり方】

様々な主体が協力しやすい場のデザイン

- 市民団体や医療機関等、背景が異なる様々な主体が強みを発揮して協力できるよう、中間的な立場で議事進行や論点整理をサポートしました。
- 事務局に寄り添い、現状を把握しながら、運営上の課題を整理して解決のサポートを行いました。

市民活動活性化事業

【事業概要】醍醐地域の公共施設「京都市醍醐いきいき市民活動センター」では、地域の市民活動を活性化させるための諸事業を行っています。

本事業は、単独で行うのではなく、醍醐支所の各種事業と密に連携しながら実施されています。例えば、「おとなだいご塾」と連携する、市民が対話を通じて活動の第一歩を踏み出す場「だいがサロン」を実施したり、「おとなだいご塾」卒業生の発案した企画を共同で実施したりすることで、醍醐支所と共に、醍醐地域のまちづくりの活性化に取り組みました。



【役割／関わり方】

醍醐支所と醍醐いきいき市民活動センターの事業の連携補助

- 醍醐支所、醍醐いきいき市民活動センター各々の事業に関わって、連携の可能性を模索、提案、調整しました。
- 市民活動活性化事業の実施に必要な助言やネットワークを提供しました。

醍醐支所担当アドバイザー：谷亮治